アイがあふれる研究室

目目目目目目目目目・・・建物の一室で光る９つの目。魔物の巣窟ではなく、読者の皆さんの目と鼻の先にある文系総合館の 711 号室です。今年度より英語教育学分野の教員として着任した私の研究室にもようやく一通りの実験設備が揃い、心理言語実験室としての見た目を確保しました。今学期（2017 年秋）は、私と指導生さん２名に加えカナダの学生さんの４人がこの部屋に目まぐるしく出入りしていました。部屋のモニターにはカナダの大学から運ばれてきた視線計測装置が映し出す大きな目が光っています。「目は口ほどに物を言う」と言われますが、目の動きをミリ秒単位で観察すれば、頭の中の単語認識プロセスが目から鱗がおちるように綺麗に観察できるため、まさに目は心の鏡。「目は口以上に物を言う」のです。目の回るような毎日の中で、脇目も振らずに実験に没頭してしまうと、ついつい指導生さんの成長に期待をかけすぎてしまいますが、長い目で見ないといけません。当初、実験中の指導生さんにはぎこちなさがみられ目が離せませんでしたが、今は着実に成長している様子を目を細くして見守る毎日です。もうじき始まるデータ解析では、目をみはる結果が見られるのか、皆目見当もつかない結果に悩まされるのか・・・これからもおもしろそうなことが目白押しです。研究が日の目を見る日まで邁進し続ける「目（アイ）があふれる研究室」でした。